



Journal of Nara Medical Association

Vol.53
No.1
February
2002

総説

- 1) 大腸癌転位における腫瘍宿主相互関係： 国安弘基
- 2) 糖尿病性腎症治療のエビデンス： 金内雅夫

目 次

「総説」

大腸癌転移における腫瘍宿主相互関係……………國 安 弘 基…(1)

糖尿病性腎症治療のエビデンス……………金 内 雅 夫…(11)

「原著」

Procaspases and apoptotic protease-activating factor-1 (APAF-1) in bovine thymus,
brain, and liver: partial purification and tissue distribution ……Asako ITAYA-HIRONAKA…(19)

軸索切断後の迷走神経核および舌下神経核の神経細胞とグリア細胞における p38 MAP kinase の発現
……………下川原 立 雄名…(37)
他 5

冷凍保存骨髓細胞を用いた培養骨移植による骨形成能の評価……………中 島 弘 司…(47)
他 8

「症例報告」

A case of pleuroperitoneal communication in continuous ambulatory peritoneal dialysis
……………Norihiko MATSUMURA et al…(55)

原発性アルドステロン症に甲状腺乳頭癌を合併した 1 例……………辻 本 達 寛…(61)
他 12

An autopsy case of overwhelming sepsis with hypoglycemia in a patient with alcoholic liver cirrhosis
……………Norihiko MATSUMURA et al…(69)

肺高血圧を伴う心房中隔欠損症に急性心筋梗塞を合併した高齢者の 1 例……………吉 村 充 代…(75)
他 9

SPECT にて一過性全般性脳血流低下を示した非ヘルペス性ウイルス性脳症の 1 症例 ……山 内 孝 之…(83)
他 6

奈良医学会に関する申し合せ

CONTENTS

[Review]

Tumor-host relationship in colon cancer metastasis.....Hiroki KUNIYASU... (1)

Diabetic nephropathy and evidence-based medicineMasao KANAUCHI... (11)

[Original Articles]

Procaspases and apoptotic protease-activating factor-1 (APAF-1) in bovine thymus, brain, and liver:
partial purification and tissue distribution.....Asako ITAYA-HIRONAKA... (19)

Expression of p38 mitogen-activated protein (MAP) kinase in the neurons and the glial cells of
the dorsal motornucleus of the vagus nerve and the hypoglossal nucleus after axotomy
.....Tatsuo SHIMOKAWARA et al... (37)

Evaluation of osteogenic capacity of cultured bone graft using cryopreserved marrow cells
.....Hiroshi NAKAJIMA et al... (47)

[Case Reports]

A case of pleuroperitoneal communication in continuous ambulatory peritoneal dialysis
.....Norihiko MATSUMURA et al... (55)

A case of primary aldosteronism associated with papillary carcinoma of the thyroid
.....Tatsuhiko TSUJIMOTO et al... (61)

An autopsy case of overwhelming sepsis with hypoglycemia in a patient with alcoholic liver cirrhosis
.....Norihiko MATSUMURA et al... (69)

A case of atrial septal defect with pulmonary hypertension complicated with acute myocardial infarction
.....Mitsuyo YOSHIMURA et al... (75)

A case of non-herpes viral encephalopathy with a transient diffuse decrease in cerebral blood
flow on brain spect during antiviral therapyTakayuki YAMAUCHI et al... (83)

奈良医学会に関する申し合せ

1. (名称)

本会は「奈良医学会」と称する。

2. (目的)

奈良医学会は、奈良県における医療と研究活動の活性化、並びに、会員間の情報交換と卒後教育を目的とする。

3. (事業)

本会は、前章の目的を達成するため、次の事業を行う。

1. 年間1回「奈良医学会総会」を開催する。

2. 隔月で会誌「奈良医学雑誌」を刊行する。

3. その他

4. (会長)

本会は、奈良県立医科大学学長を会長とする。

5. (会員)

本会の会員は、原則として奈良県において医療活動、医学研究、医学教育に従事する者とし、奈良県立医科大学教員、奈良県立医科大学附属病院勤務者、奈良県立医科大学大学院生・研究生・専修生・博士研究員などからなる一般会員、及び、その他の入会希望者からなる賛助会員とする。

6. (事務局)

1. 事務局は事務局主任、奈良医学雑誌編集主幹、及び、会計によって構成する。

2. 事務局主任、奈良医学雑誌編集主幹、及び、会計は奈良医学会会長によって委嘱される。任期は夫々2年とする。但し、再任を妨げない。

7. (運営)

1. 事務局主任は奈良医学会の運営、及び、奈良医学会総会の開催を主宰する。総会の開催にあたっては、事務局主任は基礎と臨床の2教室を当番世話人として委嘱し、開催日時、開催場所、会員からの演題募集、招待講演の決定等を行う。

2. 奈良医学雑誌編集主幹は、別に定める「奈良医学雑誌編集委員会申し合わせ」に従い会誌の編集発行を担当する。

3. 会計は会誌の発行、並びに、学会運営に関わる会計を統括する。

8. (会費)

本会は、年会費として一般会員4,000円、賛助会員一口10,000円を徴集する。会計報告は年1回とし、医学会総会にて承認を受ける。また、奈良医学雑誌上にて報告を行う。

奈良医学雑誌編集委員会に関する申し合せ

1. 奈良医学雑誌編集部は編集主幹、副主幹、奈良医学会事務局主任、会計、他4名の編集委員及び編集事務職員をもって構成する。編集委員の1名は図書館長をもってあてる。

2. 編集主幹は任期満了時又は退任時には事前に奈良医学会会長に報告し、次期編集主幹選任の委嘱を受け、編集委員会を開き、次期編集主幹を選任しなければならない。次期編集主幹は奈良医学会会長によって委嘱される。

3. 編集主幹は新編集委員、及び副主幹を委嘱する事ができる。副主幹は主幹を補佐すると共に必要時には主幹の職務を代行するものとする。

4. 編集主幹、副主幹及び編集委員の任期は2年とする。但し、再任を妨げない。

5. 編集委員会は奈良医学雑誌の発行、編集方針の決定に責任を持つ。

投稿規定概略

1. 奈良医学雑誌は、奈良医学会の公的雑誌として奈良医学会員による総説・原著・症例報告及び見聞記などを掲載する。
投稿は、奈良医学会員（年会費 4,000 円）に限るものとし、投稿著者（論文に対する責任著者）を明確にし、著者全員の投稿同意署名を指定の用紙に記入して、奈良医学雑誌編集部（本館 1 階, Tel. 0744-22-3051 ext. 2253, Fax. 0744-23-7508 係：恵 ひろ子）へ原本 1 部にフロッピーディスク（FD）を添えて持参又は郵送する。
FD には、論文表題・筆頭著者名・使用ソフト名（Version も）・使用機種（Macintosh, Windows, etc.）を記載したラベルを貼付すること。
2. 論文の採否は、編集委員又は査読者の結果をもとに編集主幹が決定する。
3. 原著と症例報告は英文 300 語以内の抄録をつけ、図および表の説明は英文とする。
4. 原著・症例報告・謝辞・文献・その他は投稿規定の細目に従う。
5. 編集主幹は、編集委員会の同意のもとに投稿を依頼することができる。
6. 投稿論文作成の詳細は、奈良医学雑誌投稿規定に従う（各年の最終号に掲載する）。
7. 査読期間は論文受領後、2 週間とする。
8. 原著・症例報告の掲載は、印刷頁 3 頁まで無料とし、超過分は著者負担とする。別刷は 30 部まで無料とする。
9. 依頼原稿については、8. の規定を除外する。

編集主幹：吉原 紘一郎（生化学）

編集副主幹：石坂 重昭（寄生虫学）

編集委員：上野 聡（神経内科学）、喜多 英二（細菌学）、
国安 弘基（腫瘍病理学）、榊 壽右（第 2 外科学）、
中嶋 敏勝（図書館長）、中村 忍（病態検査学）

連絡先：〒 634-8521 奈良県橿原市四条町 840 [TEL 0744-22-3051]

奈良県立医科大学生化学教室

奈良医学雑誌編集部

奈良医学雑誌 第 53 巻 第 1 号

（非売品）

平成 14 年 2 月 25 日 印刷

平成 14 年 2 月 28 日 発行

編集兼発行者：吉原 紘一郎

印刷者：前田 政昭

印刷所：前田進行堂印刷

（株）前田グラフィック・アーツ

[606-0964] 京都市左京区松ヶ崎修理式町 3-7

[605-0074] 京都市東山区祇園町南側 585-4

発行所：奈良医学会
奈良県立医科大学

[634-8521] 橿原市四条町

JOURNAL OF
NARA MEDICAL ASSOCIATION
Vol. 53 No. 1

Executive Editor:

Koichiro YOSHIHARA, M. D.

Associate Editor:

Shigeaki ISHIZAKA, M. D.

Editorial Board:

Eiji KITA, M. D.

Hiroki KUNYASU, M. D.

Shinobu NAKAMURA, M. D.

Toshikatsu NAKASHIMA, M. D.

Toshisuke SAKAKI, M. D.

Satoshi UENO, M. D.

Managing Editor:

Hiroko MEGUMI

Published by Nara Medical Association
and University

Kashihara, Nara 634-8521, Japan
